

講師  
北村 淳一  
三重県総合博物館  
学芸員

コイ科タナゴ亜科魚類は、河川中下流域の氾濫原の恒久水域（たまりやワンド、クリーク）や小川、湖沼やため池に主に生息し、一生を淡水で過ごす純淡水魚類です。卵を生きたイシガイ目の淡水二枚貝類の鰓内に産み込み、子は卵黄を吸収し終えるまで貝内で過ごすという特徴的な繁殖生態を得ています。そのため、様々な適応形質を持ち多様化しています。日本に生息するタナゴ類について、その生物多様性の維持機構（多種共存）と生成機構（種分化）について紹介します。

入場  
無料

お申し込みは  
こちらから



開催中



※本館入館には入場料が必要です。

# 日本のタナゴ亜科魚類の生態と進化

三重県総合博物館交流企画講演会

2024  
1/21(日)  
13:30~15:00



コイ科タナゴ亜科魚類

会場  
GIFU PREFECTURAL MUSEUM  
**岐阜県博物館**  
けんぱくホール

定員  
120人 要予約・先着順

申し込み  
ホームページから  
12/21AM8:30 受付開始

連絡先(岐阜県博物館)  
岐阜県関市小屋名1989  
☎0575-28-3111

